

各 位

会社名 ヒビノ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 日比野 晃久
 (コード番号 2469 東証 JASDAQ)
 問い合わせ先 執行役員ヒビノ GMC 経営企画グループ
 グループ長 大関 靖
 (TEL : 03-3740-4391)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2022年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)
 (単位：百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想	A	23,000	950	1,000	600	円 銭 60.68
今回修正予想	B	23,029	1,774	1,994	1,332	134.79
増減額	B-A	29	824	994	732	
増減率	(%)	0.1	86.8	99.4	122.1	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)		12,521	△3,017	△2,234	△1,679	△169.43

(2) 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想	A	45,000	1,500	1,500	900	円 銭 91.02
今回修正予想	B	45,000	1,950	2,200	1,400	141.59
増減額	B-A	—	450	700	500	
増減率	(%)	—	30.0	46.7	55.6	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)		30,523	△4,073	△2,636	△2,423	△244.76

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間は、コンサート・イベントサービス事業が東京オリンピック・パラリンピック関連の売上をほぼ計画通りに計上したことに加え、現場の効率的な人員配置により、大会期間中、その他の案件も想定以上に取り込むことができました。建築音響・施工事業も、大型案件の集中と順調な工事進捗により計画を上回って推移しました。電気音響・販売施工事業は新型コロナウイルス感染症の影響により回復が遅れていますが、グループ全体の売上高は概ね前回予想通りとなる見込みです。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益については、コンサート・イベントサービス事業及び建築音響・施工事業の上振れを主要因として、市場の回復とともに業務の正常化が進む前提のもと、コストの増加を見込んでおりましたが、当初の見込みより抑制できたこと、さらに、一部休業に伴う助成金収入を計上したことも寄与し、前回予想を大幅に上回る見通しであります。

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び緊急事態宣言の期間が9月30日まで延長されたことによる足元の状況を勘案し、2021年5月14日に公表しました営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を修正いたします。

(注) 業績予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

以 上